



皆さんはこの一年間の成長を感じていますか。来年度はどんな高校生活を過ごしたいと思いますか。

## これからの学び

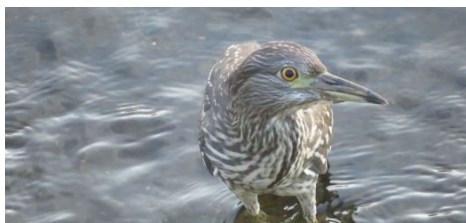


学年の始めには長い一年がスタートしたと思っていても、過ぎてみるとあっという間の一年でしたね。4月から使用する新しい教科書を購入し、難しそうな内容に皆さんはワクワクしていますか。それとも不安でドキドキしていますか。

皆さんがワクワクしながら参加できる授業づくりを意識して、先生方は今週2つの研修会に参加しました。これからの時代に対応するために求められている力は、自分たちで課題を見つけ、解決策を考え、他の人と協力して解決に取り組む力です。これまでの学校は知識を学び記憶することに重点が置かれていました。しかし、今ではネットで検索すれば知識の多くをすぐさま知ることができます。そのような社会では記憶して自由に使えなければならない知識の量はずいぶん少なくなっています。むしろこれらの情報をどのように活用できるかが求められています。

そのために有効な考え方としてAL(アクティブ・ラーニング)が広まっています。そしてその学習方法としてPBL(課題解決型学習)が推奨されています。先生方は今回の研修でALの目的と具体的な実践例を体験しました。先生方の間には体験をとおして笑顔が広がっていききました。先生方の笑顔が広がったように、新しい学年での授業はきっと生徒の皆さんの笑顔も広がることと思います。

さて、学年の終わりに一つ問題を出します。「鳴かぬなら 鳴くまで待とう ホトトギス」これは、徳川家康の性格を表現した俳句です。同じように織田信長は「鳴かぬなら 殺してしまえ ホトトギス」、羽柴秀吉は「鳴かぬなら 鳴かせてみせよう ホトトギス」と詠まれています。それでは、みなさんが理想とする先生はどのような先生でしょうか。そのイメージを「鳴かぬなら ○○○○○○ ホトトギス」と俳句にしてみてください。この問題はこれからの社会に必要な力を問う問題でもあります。友達と相談したり家の人と相談してもいいでしょう。あなたのイメージをあなたの言葉で最後にまとめてみてください。唯一の正解はありません。あなたが詠んだ句はあなたにとっては正解です。



大切なのはその句を導き出すまでの過程と表現力です。

一年間、お疲れ様でした。春休みに気持ちをしっかりリフレッシュして、また来る一年を楽しみましょう。

校長 松川 明義



【行事予定】24日(日)：第三種電気主任技術者試験



米工 HP